

荒井フットボールクラブとは



1. 登録

日本サッカー協会会員・兵庫県サッカー協会登録・第4種少年部・
第0233974号・東播サッカー協会(及び高砂市サッカー協会)に所属しています。

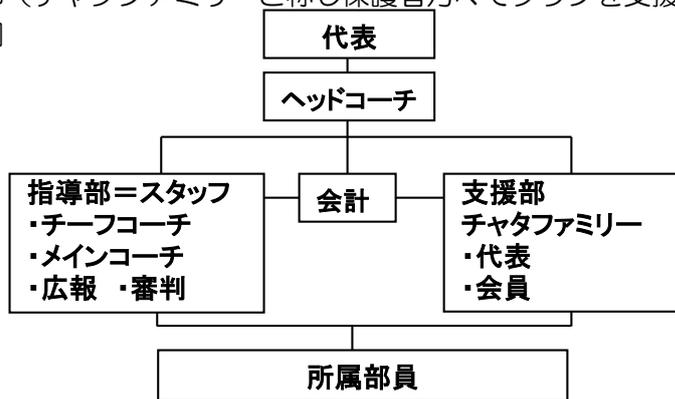
2. 発足

1993年7月 FC 荒井ブルーウイングスとして結成、1996年に現在の荒井フットボールクラブ(荒井FC)とクラブ名称を変更しました。

3. 組織

荒井FCにはチームと二つの組織があります。

- (1) 指導部 (クラブスタッフの組織です)
- (2) 支援部 (チャタファミリーと称し保護者方々でクラブを支援する組織です)
- (3) 組織図



子どもさんの入部に伴い、保護者の方も同時に“荒井FC チャタファミリーに入会いただく事になります。チャタファミリーは荒井FCの活動を全面的に支援する事及び会員相互の親睦をはかることを目的とする。活動内容は毎年度始めにチャタ代表を中心に全会員にて協議して定める。

4. 活動日、活動時間

- (1)水曜日、19～21時、夜間練習、荒井中学校体育館、
クラブ内の学年別部員成、活動日程・学校・地域行事等によって、対象学年を決定していきます。
- (2)土曜日、日曜日、祝日が主な活動日となります。活動内容(練習グラウンド、試合グラウンド、対戦相手、大会スケジュール等)によって集合・解散時刻は流動的です。よって下記のような活動となる場合もあります。 ホームページ掲載の活動予定にてご確認できます。
 - ・終日・半日・夜間となる場合もあります。 ・学年別に活動する事もあります。
 - ・完全休日となる場合もあります。 (活動例：⑥⑤年休み、④③年試合、②①年練習)

5. 活動場所

あざみ児童公園、米田多目的グラウンド、荒井中学校体育館、荒井小学校、近隣企業グラウンド、高砂市陸上競技場、日岡山公園グラウンド、その他
場所によっては部員の送迎が必要な為、保護者間で協力して行います。

6. 入会金・部費

入会金：0円、部費：1000円/月
兄弟二人目以降は500円/月の割引を適用しています。
別途、選手登録費用とスポーツ保険料(加えて手続き料)も必要です。
年長(キッズ)の部費は1000円/6ヶ月とし、兄弟割引制度は適用しません。
他の費用(保険料、登録費用)は他部員同様です。

7. 用具と服装

靴は、運動靴又はトレーニングシューズを使用下さい。
(特に低学年のスパイクシューズはお勧めできません、底面がフラットに近いのがトレーニングシューズです)
試合用ユニフォームシャツ(半袖：黄・青)はクラブから貸与します。
下記は個人でご準備いただく事になります。

- ・試合用パンツ(青)、・試合用ストッキング(黄・青)
- ・レガース(すねあて)、・サッカーボール(4号球を各自1個)

* 試合用のストッキングは無地(IG-8FW4056、DEPO等で購入可能、約700円)
* 練習時は運動のできる服装なら、学校体操服等なんでも構いません。
個人で準備された試合用パンツ・ストッキング・アンダーシャツ着用も問題ありません。
* 夏季は熱中症防止として、キャップ帽子着用を奨励しています。(試合時は着用できません)
冬季は防寒対策として、手袋・ニット帽子着用もかまいません。(試合時は帽子着用できません)

8. 入部時にご提出いただく書類

- ・入部申込書
 - ・健康調査表
- お預かりしました個人情報荒井FC活動のみにおいて使用する事をお約束すると共に、確実に管理させていただきます。

荒井フットボールクラブ活動方針

☆ 活動目的

- ①サッカーを通じて、少年・少女の健全育成と体力向上をはかり、自主性と協調性を養う。
- ②サッカー技術を習得する中で、勝つことよりも、思いやりを大切に、楽しく(おもしろく)自分たちで考えて動く事を学び、ゆかいな仲間を作る。



☆ 指導方針

- ①楽しむサッカーを教えるのが指導の基本です。全く勝つサッカーを教えないわけではありません。勝たなければならない試合と楽しさだけを求めた試合を区別する必要があります。
勝たなければならない試合では当然、勝利を優先して試合に望みますが、その勝つサッカーの中にもやはり“楽しくプレーする”気持ちを持てる選手に育てます。
- ②人から出される指示で動くのではなく、“自分で考え工夫して判断して動ける”ように日々指導しています。
- ③努力をする選手の可能性を最大限に伸ばしてあげることが、クラブスタッフの使命です。努力をしない子どもはいくらスタッフが頑張っても、可能性を伸ばしてあげる事はできません。努力を惜しまない子どもは無限大の可能性を秘めています。

☆ 子どもの様子

- ①入部した頃はとても楽しく、練習する日が待ち遠しいものです。入部してクラブの生活に慣れてくると練習がイヤになってくる場合があります。慣れない指導の負担、集団生活の苦痛などいろいろあります。誰もが一度は通過する過程です。全く練習の出来なかつたケースもたまに経験しています。慣れない事をするのですから、そのような事は仕方がない事です。そんな時は直ぐやめさせるのではなく、その時間(その時)を乗り越えるのです。その時間を乗り越えると、サッカーの楽しさ、チームワークの素晴らしさが少しずつではありますがわかってきます。そして、遠足の前日のように練習や試合に喜んで楽しく参加するようになるでしょう。

☆ 親として出来る範囲でサポートを

- ①子どもが頑張っているサッカー、好きでやっているサッカーを保護者の方は出来る限りの範囲で結構ですからサポート(支援)をしてあげてください。荒井FCは“塾”ではありません。保護者の方のサポートは、子ども達にとって是非とも必要なものです。試合の日は、会場まで送迎する。大きな声で声援する。手作りのお弁当を作る。どんな事でもよいのです。

☆ 一人のコーチとして

- ①サッカーの技術指導者だけがコーチではありません。保護者の方も立派なコーチなのです。試合に負けた時は励まして上げる。これも立派なコーチの役割です。この指導は保護者の方にしかできません。監督やコーチがはげますより、保護者の方が応援し、声をかけてあげれば子どもたちはきっと元気になり、明日へのファイトがわくことでしょう。子どもにとって、保護者様が一番のコーチである事に間違いありません。

☆ スランプになってしまったら

- ①試合など調子の良い時は何をたってもうまくいきますが、調子の悪い時はトコトン調子が悪いのが人間です。そのマイナス部分をスランプ(悩みの時期)といいます。スランプに入ってしまった時は、励ましてあげてください。そこから抜け出すのは自分の力でしかできないのです。スタッフや保護者の方が救ってあげる事はできません。しかし、スランプから抜け出そうとしている子ども達は応援してあげる事は出来るはずで、その“がんばれ”“あと少し”の一声が子ども達を勇気づけるのです。

Each For All All For Each (一人はみんなのために、みんなは一人のために)

荒井フットボールクラブはみんなのクラブです。クラブでは、「あいさつ」と「思いやり」を大切にしています。

<http://arai-fc.jimdo.com/>

